



請求管理ロボ

仕訳連携仕様書(MF会計)
～第2版～

改訂履歴

版数	リリース	更新日	更新者	更新内容
第1版		2018/11/14	的場	初版として作成
第2版		2019/01/22	的場	摘要yyyyymm-請求先コード-連番の出力内容を変更

はじめに

<概要>

- ・システム上作成されている仕訳の一覧のご確認と会計ソフト連携用
エクスポートフォーマットの出力が可能です。
- ※エクスポートフォーマットに関しては、
現状、MF会計の他、freee、勘定奉行、PCA会計、弥生会計に対応しております。
- ・システム上作成される仕訳の勘定科目名と補助科目コードの設定が可能です。

請求管理ロボからの仕訳データCSVのエクスポート、
仕訳ソフトへのインポートにより仕訳の登録を一括で行うことができます。

<注意事項>

以下機能のご利用をご希望の場合、
別途オプションのご契約が必要でございますので、
ご希望の場合は以下のメールアドレスにお問い合わせをお願い致します。

<ご連絡先メールアドレス>

support@billing- robo.jp

目次

- » CSVエクスポート手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- » エクスポートデータの基本仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- » MF会計会計と請求管理ロボ項目対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5.6
- » MF会計インポート仕様(補足資料)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

CSVエクスポート手順

管理画面上部タブの仕訳→仕訳伝票エクスポートからエクスポートします。

① 伝票日付 : 2018/04/01 ~ 2018/04/30
データ作成日 : 日付 ~ 日付
エクスポート済み : 未エクスポート

② エクスポート

- ① 伝票日付 : 会計の計上日付け
- データ作成日 : 仕訳データが作成された日(請求書の作成日or売上計上日)
- エクスポート済み : 既にエクスポートしたデータか未エクスポートのデータ

② 上記条件設定を行いエクスポートをクリック

下記のような仕訳ソフトへ連携可能なデータが出力されます。
(項目フォーマット参照)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	W	X	Y
1	2111			2015/11/01	売掛金			対象外	10800		0 前受金			no
2	2111			2015/11/01	売掛金			対象外	10800		0 売上高			no
3	2110			2015/11/01	普通預金			対象外	9000		0 売掛金			no
4	2100			2015/11/01				対象外	0		0 売掛金			no
5	2101			2015/11/01				対象外	0		0 売掛金			no
6	2111			2015/11/01	売掛金			対象外	10800		0 前受金			no
7	2111			2015/11/01	売掛金			対象外	129600		0 前受金			no
8	2111			2015/11/02	売掛金			対象外	13331		0 前受金			no
9	2111			2015/11/30	前受金			対象外	10800		0 売上高			no
10	2111			2015/11/30	前受金			対象外	10800		0 売上高			no
11	2111			2015/11/30	前受金			対象外	216000		0 売上高			no
12	2111			2015/11/30	前受金			対象外	10800		0 売上高			no
13	2111			2015/11/30	前受金			対象外	10800		0 売上高			no
14	2111			2015/11/30	前受金			対象外	10800		0 売上高			no
15	2111			2015/11/30	前受金			対象外	129600		0 売上高			no
16	2111			2015/11/30	前受金			対象外	13331		0 売上高			no
17	2111			2015/11/30	前受金			対象外	12345		0 売上高			no
18	2111			2015/11/30	売掛金			対象外	2160		0 売上高			no

エクスポートデータの基本仕様

- »出力ファイル名称：yayoi_yyyymmdd.csv
- »出力フォーマット形式：カンマ（CSV）形式
- »文字コード：Shift-JIS
- »レコード終端の改行コード：CRLF
- »ヘッダ行の有無：無し
- »区切り文字：カンマ区切り

文字型項目は""（ダブルクォート）で囲む or 囲まない どちらでも可
（カンマ）を文字として扱う場合は""（ダブルコーテーション）で囲む

※弥生会計のフォーマットで出力を行う為、

MF会計の弥生会計フォーマットインポート手順を参照し連携を行ってください。

MF会計と請求管理ロボ項目対照表

項番	MF会計項目	請求管理ロボ項目	データ	備考
1	識別フラグ	伝票区分		請求管理ロボデータ（伝票区分） ・単行明細 ⇒2000 ・1行目明細 ⇒2110 ・中明細 ⇒2100 ・最終行明細 ⇒2101 ・それ以外の伝票⇒2000
2	伝票No.	空欄	空欄	
3	決算	空欄	空欄	
4	取引日付	伝票日付	yyyy/MM/dd	
5	借方勘定科目	勘定科目コード	借方_勘定科目コード	勘定科目設定から参照
6	借方補助科目	補助科目コード	借方_補助科目コード	勘定科目設定から参照
7	借方部門	請求元部署コード (仕訳連携用コード)	借方_会計連携部署コード	請求元部署のマスタから参照
8	借方税区分	消費税コード	借方_消費税コード	消費税コード設定から参照
9	借方金額	借方_金額+消費税額	借方_金額+借方_消費税額	
10	借方税金額	借方_消費税額	借方_消費税額	
11	貸方勘定科目	貸方_勘定科目コード	貸方_勘定科目コード	勘定科目設定から参照
12	貸方補助科目	貸方_補助科目コード	貸方_補助科目コード	勘定科目設定から参照

項番	MF会計項目	請求管理口ホ項目	データ	備考
13	貸方部門	貸方_請求元部署コード (仕訳連携用コード)	貸方_会計連携部署コード	請求元部署のマスタから参照
14	貸方税区分	貸方_消費税コード	貸方_消費税コード	消費税コード設定から参照 借方勘定科目が無い場合は、 「対象外」と記述。
15	貸方金額	貸方_金額+貸方_消費税額	貸方_金額+貸方_消費税額	※税込金額を出力 税区分により、 下記の値を出力する。 外税：金額+消費税 内税：金額 上記以外：金額 ※複数行明細で空欄の場合は 「0」を出力
16	貸方税金額	貸方_消費税額	貸方_消費税額	※内税の場合も出力 消費税額が0の場合は0と出力
17	摘要	請求書番号	請求書番号	yyyymm-請求先コード-連番
18	番号	空欄	空欄	
19	期日	空欄	空欄	
20	タイプ		0	「識別フラグ」が「2000」の場合、 「0」を出力 「識別フラグ」が「2000」以外の 場合、「3」を出力
21	生成元	空欄	空欄	
22	仕訳メモ	空欄	空欄	
23	付箋1	空欄	空欄	
24	付箋2	空欄	空欄	
25	調整		no	No固定出力

MF会計インポート仕様

	条件	項目名	桁数	型	備考
1	必須	識別フラグ	4	文字	次の中から設定する仕訳にあった適切な番号を半角数字で入力 2000・・・伝票以外の仕訳データ 2111・・・1行の伝票データ 2110・・・複数行の伝票データ 1行目 2100・・・複数行の伝票データ 間行 2101・・・複数行の伝票データ 最終行 取り込める伝票の行数は20行まで
2		伝票No	-	数字	取り込まない
3		決算	4	文字	<ul style="list-style-type: none"> 仕訳の種類により、決算項目に次のいずれかを設定通常仕訳：「（空欄）」 中間決算仕訳（インポート不可）：「中決」 本決算仕訳：「本決」
4	必須	取引日付	10	日付	西暦または和暦日付に限る （例）2014年7月1日の場合、次のいずれかで入力 「20140701」「2014/07/01」「2014/7/1」 「H.26/07/01」「H.26/7/1」「H26/07/01」 「H26/7/1」 複数行の伝票データの場合は1行目が必須（2行目以降は1行目の内容を反映） 取り込める期間に制限あり ※詳細は文末のリンク先を確認してください
5	必須	借方勘定科目	12	文字	12文字を超える部分は切り捨て、その他制限あり ※詳細は文末のリンク先を確認してください
6		借方補助科目	15	文字	15文字を超える部分は切り捨て
7		借方部門	-	文字	取り込まない
8		借方税区分	10	文字	<ul style="list-style-type: none"> 空欄の場合は、「指定なし」が選択され、科目の税区分設定に基づいてインポートされます ※税区分を指定できない勘定科目の場合、インポートファイルの該当のセルに「対象外」を必ず入力してください <税区分を指定できない勘定科目> [流動資産] タブの「現金・預金」カテゴリの科目 <ul style="list-style-type: none"> ・[純資産] タブの科目 ・[その他] タブの科目（「固定資産」を除く）

条件	項目名	桁数	型	備考	
9	必須	借方金額	9	金額	税込金額 整数（9桁まで）、マイナス不可 複数行の伝票データで、借方勘定科目がない場合でも必須 借方勘定科目がない場合は「0」を入力
10		借方税金額	9	金額	
11	必須	貸方勘定科目	12	文字	12文字を超える部分は切り捨て、その他制限あり ※詳細は文末のリンク先を確認してください
12		貸方補助科目	15	文字	15文字を超える部分は切り捨て
13		貸方部門	-	文字	取り込まない
14		貸方税区分	10	文字	<ul style="list-style-type: none"> 空欄の場合は、「指定なし」が選択され、科目の税区分設定に基づいてインポートされます ※税区分を指定できない勘定科目の場合、インポートファイルの該当のセルに「対象外」を必ず入力してください <税区分を指定できない勘定科目> [流動資産] タブの「現金・預金」カテゴリの科目 ・[純資産] タブの科目 ・[その他] タブの科目（「固定資産」を除く）
15	必須	貸方金額	9	金額	税込金額 整数（9桁まで）、マイナス不可 複数行の伝票データで、貸方勘定科目がない場合でも必須 貸方勘定科目がない場合は「0」を入力
16		貸方税金額	9	金額	
17		摘要	30	文字	30文字を超える部分は切り捨て（半角全角問わず）
18		番号	-	文字	取り込まない
19		期日	-	日付	取り込まない
20		タイプ	-	数字	取り込まない

	条件	項目名	桁数	型	備考
21		生成元	-	文字	取り込まない
22		仕訳メモ	-	文字	取り込まない
23		付箋1	1	数字	1～5以外の値の場合、取り込まない
24		付箋2	-	数字	取り込まない
25		調整	-	文字	取り込まない
26		借方取引先名	15	文字	15文字を超える部分は切り捨て（半角全角問わず）
27		貸方取引先名	15	文字	15文字を超える部分は切り捨て（半角全角問わず）